

(別紙)

障がい者スポーツ指導員基準カリキュラム
初級障がい者スポーツ指導員養成講習会（18時間以上）

領域	講習科目	内容	時間
福祉	障がい者福祉施策と障がい者スポーツ	障がい者福祉施策の体系、サービス体系、今後の動向と障がい者スポーツとの関連性を学ぶ。	2.0
	ボランティア論	ボランティア精神と活動の基本的姿勢を学ぶ。	2.0
医療 ・ 体育学 ・ 障がい者 スポーツ	障がい者スポーツの意義と理念	障がい者のスポーツの捉え方やその意義、効果を学ぶ。	2.0
	安全管理	スポーツを実施する際の安全管理の基本的な項目と内容を学ぶ。	1.0
	障がいの理解とスポーツ	各障がいの主な特性を学び、その特性に配慮しながら安全にスポーツを実施させるために必要な最小限の知識を身に付ける。 <身体障がい（内部障がいを含む）2時間以上、 知的障がい 2時間以上、精神障がい 1時間以上>	5.0 以上
	(公財)日本障がい者スポーツ協会 公認障がい者スポーツ 指導者制度	日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツ指導者制度の障がい者スポーツ指導員の役割や組織について知る。	1.0
	全国障害者スポーツ大会 の概要	全国障害者スポーツ大会の開催目的や実施競技、一般競技とは異なる点などの概要を学ぶとともに、大会がスポーツ未経験者や初心者のスポーツ参加の大きな動機づけになっていることを理解する。	1.0
実技 ・ 実習	障がいに応じたスポーツの工夫・実施	障がいのある人がスポーツやレクリエーションを安全に楽しむためには、既存のルールや用具をどのように工夫したらよいかを実技を通して学ぶ。	2.0 以上
	障がい者との交流	スポーツ活動をしている障がい当事者の体験談を聞く。または、スポーツ活動現場に出かけ障がい者とのふれあいを体験する。	2.0
時間数			18時間 以上